

I Excel マクロファイルをダウンロード

1 右図は、中央畜産会のHPのトップページ画面です。
画面の上部見出しにある「畜産関係情報」のページを選択します。

なお、以下のURLからも、「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」を開くことができます。

<https://jlia.lin.gr.jp/ict-raku/>



2 畜産関係情報のページに遷移しますので、「経営・支援」の項目の中の「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」を開きます。



3 「2 実施計画書の承認申請書の提出に当たって」の表内の提出ファイルの中に、畜産ICTの「酪農」「肉牛繁殖」「肉牛肥育」、楽酪GOの「酪農」のそれぞれの要望調査票(Excelマクロシート)があります。

楽酪GOの場合、楽酪GOの「酪農」を開きます。

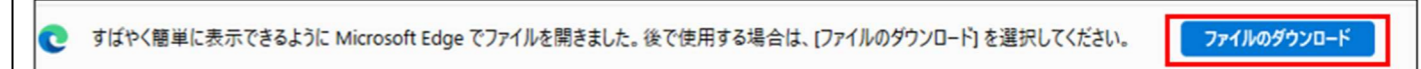
なお、「Excel マクロシート」は、これ以降の説明では、「ファイル」と表記します。

2. 実施計画書の承認申請書の提出に当たって (2026.4.22更新)

(1) 5月末日までの参加要望書・要望調査票のデータの作成・送信にあたって

区分	提出ファイル		作成者	提出者
	畜産ICT事業	楽酪GO事業		
①参加要望書	要望様式	要望様式	応援会議	応援会議
②要望調査票 (Excelマクロシート)	酪農 肉牛繁殖 肉牛肥育	酪農	労働負担軽減経営体	応援会議
(参考) マクロ手引き	畜産ICT手引き	楽酪GO手引き		

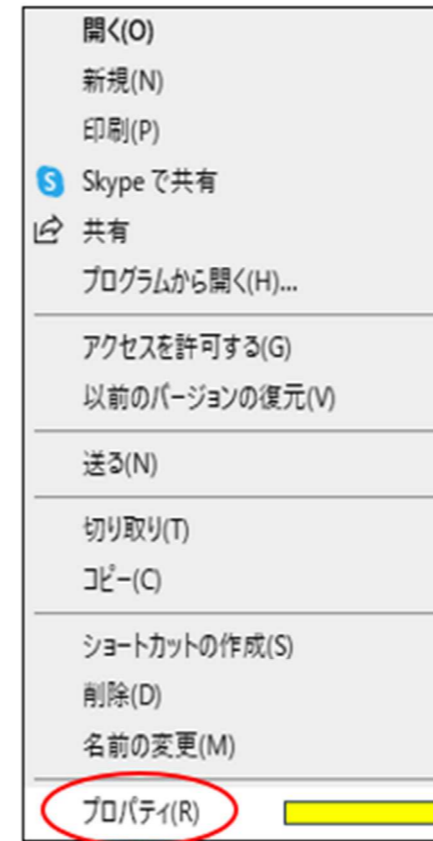
4 楽酪GOのファイル (04rg_rakuraku1-1_0000000.xlsm) をクリックし、ファイルのダウンロードを開始します。「ファイルのダウンロード」を押下後、ダウンロードしたファイルを開き、「編集を有効にする(E)」⇒「コンテンツの有効化」を押下し、ファイルを開きます。



5 **編集を有効にする (E)** をクリックしたときに、**コンテンツの有効化**が表示されず、右図の**セキュリティリスク**が表示され、マクロの実行がブロックされている場合は、以下の手順で対応する。

セキュリティリスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。 [詳細を表示](#)

6 ダウンロードしたファイル **04rg_rakuraku1-1_0000000.xlsm** を右クリックし、メニューから**プロパティ**を選択します。
次に、【全般】タブの下部にあるセキュリティの **許可する** に を入れ、**適用** ⇒ **OK** をクリックし、このファイルをダブルクリックすると開けます。



II ファイル 04rg_rakuraku1-1_0000000.xlsm を開く (ワークシートの構成) 経営体 作業

1 ファイルを開くと、次の7つのワークシートが確認できます。



2 各ワークシートの使用目的は次利用になっています。

ワークシート名	使用の目的	主な使用者
※マクロについて	○本マクロ使用にあたっての注意事項の記載があります。作業前によくお読みください。	経営体
機械装置入力シート	○ 労働負担軽減経営体は、このシートで入力を行います。 なお、入力手順は、次の手順Ⅲ (4頁) から手順Ⅴ (10頁) までに記載しています。 ○ここで入力された内容が各シートに反映されます。	経営体
出力シート (楽酪GO1号-1)	○機械装置入力シートで必要事項を入力後、プリントアウトすれば、 提出書類「要望調査票 (別記様式第1号-1)」 になります。 ○最終出力ページに、「補助金及び要望調査に関する確認書」がありますので、 必ずプリントアウトして提出して下さい。	経営体
出力シート (楽酪GO1号-1別紙1)	○施設整備の要望を行う場合、機械装置入力シートで施設整備等要望を入力後、プリントアウトすれば、 提出書類「施設整備要望調査票 (別記様式第1号-1別紙1)」 になります。 ○ <u>施設整備の単価 (/m²) が、コスト分析の基準額を超えた場合は、プリントアウトする前に同シートの「(2 コスト分析基準等を超える理由等)」を必ず手入力してから提出して下さい。</u> この場合は、施工箇所、施工面積及び施工内容が分かる設計書等及び金額明細が分かる資料を、添付資料として必ず提出して下さい。	経営体
まとめシート (楽酪GO1号)	○応援会議は、当該シートデータをコピーし、 <u>別ファイル「参加要望書 (別記様式第1号)」</u> に貼り付けていただければ、容易に書類作成 (入力) できます。 ○作成後、実施計画書承認申請書 (別記様式第2号) に添付し提出して下さい。	応援会議
項目リスト	使用しません。	(管理用です。)
機械装置リスト	使用しません。	(管理用です。)

III 「機械装置入力シート」：機械装置の入力

- ① 都道府県名：プルダウンで都道府県を選択してください。 **必須入力**
- ② 応援会議名：都道府県名を選択後、応援会議名をプルダウンで選択できるようになります。応援会議が登録済みの場合、プルダウン選択してください。
なお、登録済の応援会議の場合、会議の代表者名も自動セットされます。
- ③ 申込年月日：**必須入力**
- ④ 住所：**必須入力**
- ⑤ 法人名称又は氏名：**必須入力**
なお、申請者の住所はリース契約段階で修正する事例が多いので、申請者の**所在する住所**を正しく記入してください。

機械装置の入力 (楽酪GO)

応援会議番号: ← 県内の会議番号 ※プルダウン
 都道府県名: ①

申込年月日: ③ ← 「yyyy/mm/dd」形式

応援会議名: *プルダウンで選択。
 会議の代表者名:

住所: ④
 法人名称又は氏名: ⑤
法人の場合 代表者名

応援会議が未登録または新規の応援会議の場合、既存の応援会議名入力欄の下にある **新規登録** にチェックを入れ、応援会議名と代表者名を手入力で新規登録します。新規登録にチェックを入れた場合、既存の応援会議名入力欄は入力不可になります。

新規登録

新規応援会議名:
 会議の代表者名:

- 1 経営の概況 (令和8年5月1日現在)
- ① 経産牛頭数と労働力は**必須入力**です。年間総労働時間は経産牛頭数から自動計算が行われますので、入力不要です。
上限頭数は220頭までです (上限頭数を超える場合はエラーとなり、登録不可)
 - ② 計算方法は、「総労働時間」または「飼養管理労働時間」のいずれかを選択してください。

1 経営の概況 (令和8年5月1日現在)

① 経産牛頭数	<input type="text" value="220"/> 頭	②
労働力	<input type="text" value="9"/> 人	<input checked="" type="radio"/> 総労働時間で計算 <input type="radio"/> 飼養管理労働時間で計算
年間総労働時間	<input type="text" value="19,988"/> 時間	

- 2 機械装置の導入関係
- (1) 搾乳方式の改善
- ① 現在の状況
- | | |
|------------|-----------------------------------------|
| 現在の搾乳方式 | プルダウンからの現在の搾乳方式を選択します。
(必須入力) |
| 自動乳頭洗浄機の保有 | 現在、自動乳頭洗浄機を保有している場合、プルダウンで「○」を選択します。 |

①現在の状況

現状の搾乳方式:

自動乳頭洗浄機の保有:

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	<input type="text" value="バケット及びパイプライン方式 (自動離脱装置あり)"/> <input type="text" value="バケット及びパイプライン方式 (自動離脱装置なし)"/> <input type="text" value="バケット及びパイプライン方式 (自動離脱装置あり)"/> <input type="text" value="搾乳ユニット手動搬送方式 (自動離脱装置なし)"/> <input type="text" value="搾乳ユニット手動搬送方式 (自動離脱装置あり)"/> <input type="text" value="搾乳ユニット自動搬送方式"/> <input type="text" value="ミルクングパーラー方式 (自動離脱装置なし)"/> <input type="text" value="ミルクングパーラー方式 (自動離脱装置あり)"/> <input type="text" value="搾乳ロボット方式"/>
---------	--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ② 導入希望の機械装置
- 搾乳方式で導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計を入力してください。
 ※メーカー名・型式は、機械装置リストに掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。 **必ずメーカー名→型式の順で入力してください。**
 ※台(式)数・見積金額(税抜)の計は手入力してください。
 ※現況の搾乳方式と導入希望の機械装置の組み合わせによっては、エラー表示(赤セル)になる場合があります。
- 【(別添) 選択可能な組み合わせ表 参照】**

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクングパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルクカー 自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名	LELY				ストランゴ
型式	A4				ソフィマットMD
台(式)数	1				1
見積金額(税抜)の計	25,000,000				5,000,000
消費税額	2,500,000				500,000

□現状と同種搾乳方式の導入（増設及び機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）

保有機械装置の能力に対し、搾乳頭数が計画に比べて増頭しており、現状として過剰な労働時間である場合、同種の機械装置の導入を希望する場合、チェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。

但し、専門委員会の承認が必要であるため、**説明資料の提出が必要**です。

条件①

現状と同種搾乳方式の導入（増設及び機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）

▶同種の機械装置を導入（増設）

ミルク自動離脱装置の増設を希望する場合、▶同種の機械装置を導入の **増設** を選択します。

条件①：「□現状と同種搾乳方式の導入（増設及び機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）」に✓があること。

条件②：現状の搾乳方式が、バケット及びパイプライン方式、搾乳ユニット手動搬送方式、ミルクパーラー方式（いずれも自動離脱あり）、搾乳ユニット自動搬送方式であること。

条件③：導入希望の機械装置にミルク自動離脱装置の入力があること。

▶同種の機械装置を導入

増設 パーラー方式変更

現状のパーラー方式 ストール数

条件②

①現在の状況

現状の搾乳方式： ミルキングパーラー方式（自動離脱装置あり）

ミルク自動離脱装置
オリオン機械
OCR5000A
6
1,200,000
120,000

条件③

▶同種の機械装置を導入（パーラー方式変更）

ミルクパーラーの方式変更を希望する場合、▶同種の機械装置を導入の **パーラー方式変更** を選択します。

条件①：□現状と同種搾乳方式の導入（増設及び機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）に✓があること。

条件②：現状の搾乳方式が、ミルクパーラー方式（自動離脱装置あり）

条件③：導入希望の機械装置のミルクパーラーに入力があること。

条件④：現状のパーラー方式（プルダウン選択）、ストール数（手入力）に入力があること。

▶同種の機械装置を導入

増設 パーラー方式変更

現状のパーラー方式 パラレル ストール数

条件②

①現在の状況

現状の搾乳方式： ミルキングパーラー方式（自動離脱装置あり）

ミルクパーラー
ミルクライン
ミルプロP4C
1
30,000,000
3,000,000

条件③

搾乳方式チェック

(1) 搾乳方式の改善の必要項目の入力が終わったら、**搾乳方式チェック** ボタンを押下します。

入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます。

(□現状と同種搾乳方式の導入（増設及び機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）に✓を入れてある場合は、**削減労働時間の手入力**が必要となります)

また入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。

エラー表示（赤セル）部分を修正し、再度 **搾乳方式チェック** を押下してください。

搾乳方式チェック 時間

チェックボタン押下時自動計算

一手入力での削減時間の申請が必要な場合、こちらに記入してください。

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルク自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名					デラバル
型式					MUブルー
台(式)数					8
見積金額（税抜）の計					3,000,000
消費税額					300,000

エラー箇所はセルが赤く表示されます。

(2) 給餌方式の改善

① 現在の状況

現在、保有している機械装置がある場合、プルダウン選択で「○」を入力します。

② 導入希望の機械装置

導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計を入力してください。

※メーカー名・型式は、機械装置リストに掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。必ずメーカー名→型式の順で入力してください。

※台(式)数・見積金額(税抜)の計は手入力してください。

※現況の給餌方式と導入希望の機械装置の組み合わせによっては、エラー表示(赤セル)になる場合があります。

【別添 選択可能な組み合わせ表 参照】

同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)

機械装置老朽化等により、同種の機械装置の導入を希望する場合、チェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。但し、専門委員会の承認が必要であるため、説明資料の提出が必要です。

給餌方式チェック

(2) 給餌方式の改善の必要項目の入力が終わったら、**給餌方式チェック** ボタンを押下します。入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます。

(同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)に✓を入れてある場合は、**削減労働時間の手入力**が必要となります)

また入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。

エラー表示(赤セル)部分を修正し、再度 **給餌方式チェック** を押下してください。

(2) 給餌方式の改善

同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)

①現在の状況

↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。全て未選択の場合は「人力による給餌方式」が自動選択。

機械装置の種類	自動給餌機(濃厚・粗飼料用)	自動給餌機(濃厚飼料用)	自走式配餌車
機器の保有状況		○	

飼料給与関係機械装置の保有状況: 自動給餌機(濃厚飼料用)

②導入希望の機械装置(給餌)

機械装置の種類	自動給餌機(濃厚・粗飼料用)	自動給餌機(濃厚飼料用)	自走式配餌車
機械装置のメーカー名		大宮製作所	
型式		S100型	
台(式)数		1	
見積金額(税抜)の計		5,000,000	
消費税額		500,000	



(3) 家畜飼養管理の改善

① 現在の状況

現在、保有している機械装置がある場合、プルダウン選択で「○」を入力します。

② 導入希望の機械装置

導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計を入力してください。

※メーカー名・型式は、機械装置リストに掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。必ずメーカー名→型式の順で入力してください。

※台(式)数・見積金額(税抜)の計は手入力してください。

同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)

機械装置老朽化等により、同種の機械装置の導入を希望する場合、チェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。但し、専門委員会の承認が必要であるため、説明資料の提出が必要です。

バークリーナーの導入について

バークリーナーの導入を希望する場合、 委員会对応要/別途説明資料有 をプルダウン選択で「○」を選ぶことで、バークリーナーの導入が可能になります。バークリーナーのメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計は、すべて手入力してください。

委員会对応要/別途説明資料有 をプルダウンで「○」を選択せずに、バークリーナーの導入希望を入力した場合、エラー表示(赤セル)になります。

(3) 家畜飼養管理の改善

同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)

(除糞作業)	↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。	(敷料費)
①現在の状況	全て未選択の場合は「バークリーナーによらない除糞」が自動選択。	①現在の
バークリーナーの保有:	<input type="radio"/>	家畜飼
家畜飼養管理機械装置の保有状況:	バークリーナー	②導入希
②導入希望の機械装置		機械
機械装置の種類	バークリーナー	機械装置
機械装置のメーカー名	GEA	型式
型式	スワロー型(ケーブル)	台(式)数
台(式)数	1	見積金額
見積金額(税抜)の計	5,000,000	消費税前
消費税額	500,000	

バークリーナーの導入を希望する場合、専門委員会の承認が必要です。削減時間を手入力で記入してください。 <input type="checkbox"/> 委員会对応要/別途説明資料有	バークリーナーの導入を希望する場合、専門委員会の承認が必要です。削減時間を手入力で記入してください。 <input type="checkbox"/> 委員会对応要/別途説明資料有												
<table border="1"> <tr><td>バークリーナー</td></tr> <tr><td>オリオン機械</td></tr> <tr><td>BCB-8ASM</td></tr> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>4,500,000</td></tr> <tr><td>450,000</td></tr> </table>	バークリーナー	オリオン機械	BCB-8ASM	1	4,500,000	450,000	<table border="1"> <tr><td>バークリーナー</td></tr> <tr><td>オリオン機械</td></tr> <tr><td>BCB-8ASM</td></tr> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>4,500,000</td></tr> <tr><td>450,000</td></tr> </table>	バークリーナー	オリオン機械	BCB-8ASM	1	4,500,000	450,000
バークリーナー													
オリオン機械													
BCB-8ASM													
1													
4,500,000													
450,000													
バークリーナー													
オリオン機械													
BCB-8ASM													
1													
4,500,000													
450,000													

○がない場合、導入不可

飼養管理チェック

(3) 家畜飼養管理の改善の必要項目の入力が終わったら、**飼養管理チェック** ボタンを押下します。入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます。

(□同種機械装置の導入（機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）に✓を入れてある場合、およびバークリーナー導入の場合は、**削減労働時間の手入力**が必要となります)

また入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。エラー表示（赤セル）部分を修正し、再度 **飼養管理チェック** を押下してください。

3 機械装置の導入方式

「リース方式」または「購入方式」か、いずれかをプルダウンで選択してください。**必須入力**です。

(2) 削減労働時間の検証方法

「機械導入前後で作業日誌等により労働時間を計測・記録して検証する」または「支援機関と導入前後の作業時間を検証する」を、いずれかをプルダウンで選択してください。**必須入力**です。

5 機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組

1 後継者①②、2 乳用後継牛①②、3 その他①～⑫の中から、該当する飼養管理の改善への取組がある場合、それぞれプルダウンで「○」を選択してください。

※楽酪 GO では、その他⑩は選択できません。

※購入方式の場合、その他①②は**必須入力**です。

5 機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組		該当の数値がある場合、「○」をプルダウン選択	(参考)忘記の認定種別を必ず選択資料の例	(参考)点数
1 後継者	① 今後とも安定的な経営継続が見込まれる経営として(1)又は(2)に該当する経営 (1)主たる経営者が45歳未満 (2)主たる経営者が45歳以上の場合、後継者となる子息・子女又は概ね15歳以上の後継者の確保	○	年齢が確認できるもの、後継者がいるということを確認した書類、家業経営協定、農業経営改善計画認定申請書、農業経営改善計画、経営・畜産部門別事業継続の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料等	0.80
	② ①に該当しない場合、後継者の確保に向けた取組の実施		法人経営の定款 等	0.85
2 乳用後継牛	① 自家の牛群更新に必要な乳用牛を概ね自家生産により確保する経営	○	経営牛(又は繁殖牛)買取と自家産乳用牛三者が証明した書類、牛群更新計画(乳牛育成計画)、経営・畜産部門別事業継続の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料 等	0.80
	② がある、又は農場HACCP推進農場として指定されている経営がある場合		(写)、農場HACCP認定書(写) 等	0.85
	③ 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律(令和4年法律第37号。)に基づく環境負荷低減事業活動実施計画又は特定環境負荷低減事業活動実施計画の認定を受けている経営		環境負荷低減事業活動実施計画(写)、特定環境負荷低減事業活動実施計画(写) 等	0.80
	④ 農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用促進に関する法律(令和6年法律第83号)に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けている経営		生産方式革新実施計画(写)及び農林水産大臣の認定を受けたことが確認できる資料(写)または生産方式革新実施計画(写)及び地方農政局等に対し認定の申請をしたことが確認できる資料(写)	0.80
	⑤ 作業安全に関する取組を実施している経営		「農作業安全シート」の提出	0.80
	⑥ その他、地域への貢献度が高い取組と事業実施主体が特に認めた取組に参加する経営		経営コンクールの表彰状 等	0.80

後継者①②および乳用後継牛①②は同時選択は不可


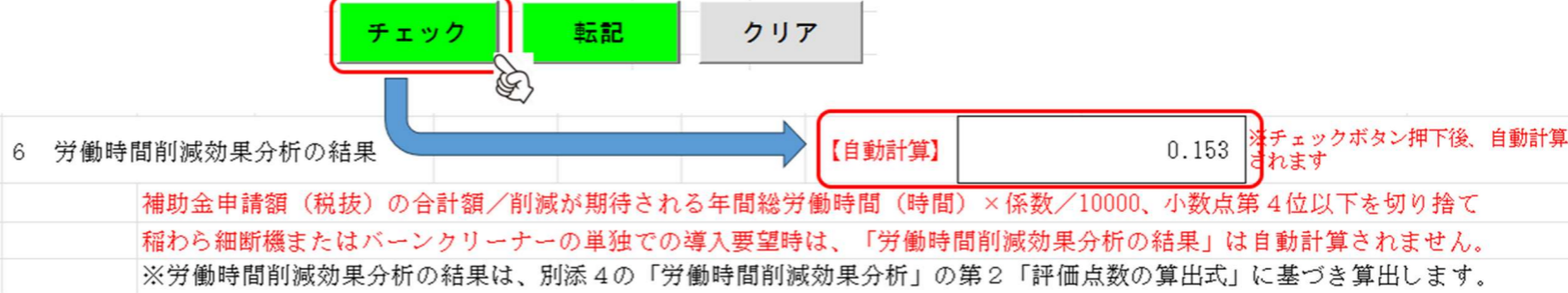
画面上部と画面下部に **チェック** **d 転記 d** **クリア** ボタンが設置されています（上部と下部でそれぞれのボタンの機能は同じです）

「チェック」：すべての入力内容についてのチェックを行ないます。

d 転記 d：入力シートの内容をまとめシートに転記します。

クリア：入力内容をすべてクリアします。

すべての入力作業が終わってから、「チェック」ボタンを押下してください。入力に不備がある場合、エラー表示（赤セル）になります。エラー箇所を修正して、再度「チェック」ボタンを押下してください。

<p>4 機械装置導入により想定される労働時間の削減効果</p> <p>(1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間</p> <p>① 画面上部または画面下部にある「チェック」ボタンを押下します。</p> <p>② 「(1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間」に各項目ごとの削減労働時間の積算結果が表示されます(自動計算結果と手入力の両方に表示がある場合は手入力の値が優先され積算されます)</p> <p>※削減労働時間の合計は、緑の「チェック」ボタンを押下した場合に、自動計算が行われます。</p>	 <p>4 機械装置導入により想定される労働時間の削減効果</p> <p>(1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間</p> <p>チェックボタン押下後、自動計算されます</p> <p>2,279 時間</p> <p>チェック 転記 クリア</p>
<p>6 労働時間削減効果分析の結果</p> <p>(2) 労働負担軽減経営体における削減労働時間</p> <p>① 画面上部または画面下部にある「チェック」ボタンを押下します。</p> <p>② 「6 労働時間削減効果分析の結果」に自動計算結果が表示されます。</p> <p>(補助金申請額(税抜)の合計額/削減が期待される年間総労働時間(時間)×係数/10000、小数点第4位以下を切り捨て)</p> <p>※労働時間削減効果分析の結果は、緑の「チェック」ボタンを押下した場合に、自動計算が行われます。</p>	 <p>6 労働時間削減効果分析の結果</p> <p>【自動計算】 0.153</p> <p>※チェックボタン押下後、自動計算されます</p> <p>補助金申請額(税抜)の合計額/削減が期待される年間総労働時間(時間)×係数/10000、小数点第4位以下を切り捨て 稲わら細断機またはパーンクリーナーの単独での導入要望時は、「労働時間削減効果分析の結果」は自動計算されません。 ※労働時間削減効果分析の結果は、別添4の「労働時間削減効果分析」の第2「評価点数の算出式」に基づき算出します。</p> <p>チェック 転記 クリア</p>

IV 「機械装置入力シート」：施設整備等要望の入力

経営体 作業

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等 < (参考) 導入機械装置 >

- ① 機械装置名：施設整備等要望の有無に係らず【必須入力】
2 機械装置の導入関係 で入力した機械装置を選択します。
他事業、自己資金で施設整備を行なう場合、機械装置名を入力してください。
- ② 機械価格（税抜）：機械装置名を入力後、自動でセットされます【必須】
他事業、自己資金の場合は、手入力してください。
- ③ 数量（式・台）：機械装置名を入力後、自動でセットされます【必須】
他事業、自己資金の場合は、手入力してください。
- ④ 【コスト分析用】単価（/式・台）：入力が必要となる機械装置（搾乳ロボット（つなぎ用を除く）・搾乳ユニット搬送レール・自動給餌機・ほ乳ロボット・自走式配餌車：バーンスクレーパー）1台あたり総額のうち、比較対象部分あたりの単価を入力。
※導入希望の機械装置の単価を入力すること。
- ⑤ 補助事業の活用状況：当該事業・他事業・自己資金の中から、プルダウンで選択します。【必須入力】
- ⑥ 他事業活用の場合の事業名：⑤が他事業である場合、入力が必要です。

<< (参考) 導入機械装置 >>

機械装置名 ① ※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。	機械価格 ② (税抜)	数量 ③ (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) ④ 注：①	補助事業の 活用状況 ⑤ 注：②	他事業 活用の 場合の 事業名 注：③
搾乳ロボット	15,000,000	1	5,000,000	当該事業	⑥

⇒

全項目、必須入力

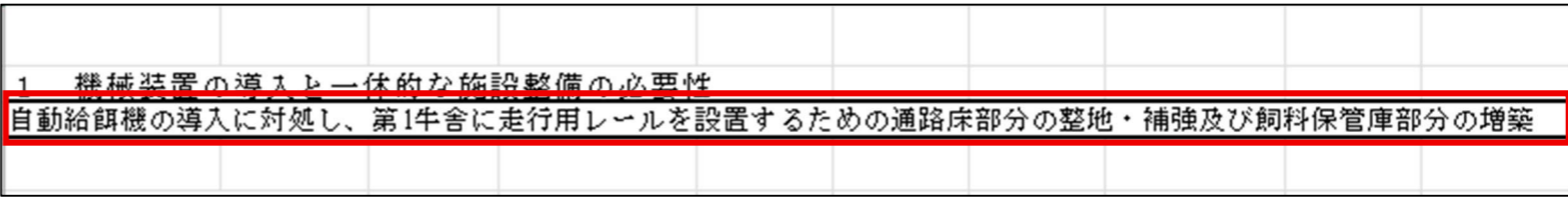
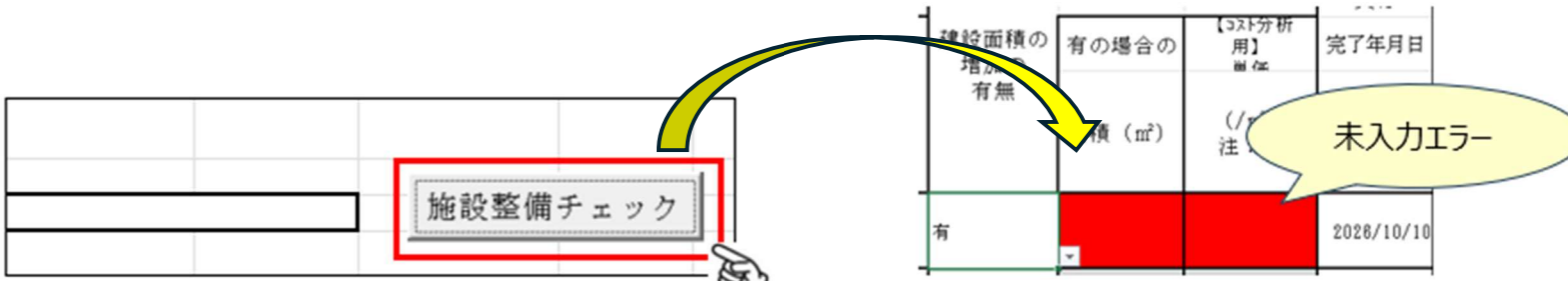
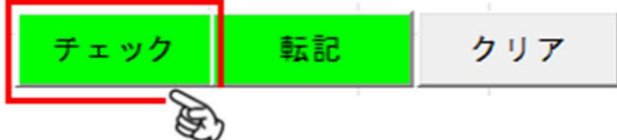
(1) 事業の内容等 < 施設整備の要望入力 >

- ① 種目：内容が明らかとなるよう実施内容を細目に分けて具体的に入力してください。【必須入力】
- ② 施設の構造、規格、能力等：施設の構造等を具体的に入力してください。【必須入力】
- ③ 建設面積の増加の有無：「有」、「無」をプルダウンで選択してください。
- ④ 有の場合の面積（㎡）：③が「有」である場合、【必須入力】
補改修のみ、増改築なしの場合は入力不要です。
- ⑤ 【コスト分析用】単価（/㎡）：③が「有」である場合、【必須入力】
補改修のみ、増改築なしの場合は入力不要です。
- ⑥ 竣工予定又は完了年月日：【必須入力】過去日付は入力できません。
- ⑦ 事業費（税抜）：【必須入力】
- ⑧ 補助金：【必須入力】補助金の上限金額は導入予定の機械装置の本体価格の1/2以内とする。
- ⑨ 自己資金：事業費－補助金の値が自動セットされる。

<< 施設整備の要望入力 >>

① 種目 注：④	② 施設の 構造、 規格、 能力等	③ 建設面積の 増加の 有無	④ 有の場合の 面積（㎡）	⑤ 【コスト分析 用】 単価 （/㎡） 注：⑤	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 （税抜）	負担区分			補助率	備考
					⑥	⑦	補助金 注：⑧ ⑧	自己資金 ⑨	その他		
牛舎の改築	木造	無			2026/10/10						

補助金は、施設整備に係る補助金額は、施設整備が必要な機械装置の導入費用（本体価格）の1/2を上限とする

<p>▶施設整備等を要望する場合</p> <p>1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性</p> <p>機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性は【必須入力】</p> <p>フリー入力ですので、なるべく具体的に内容を入力してください。</p>	
<p>施設整備チェック</p> <p>施設整備等要望の入力がすべて終わりましたら、「機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性」の項目の横に設置されている施設整備チェックのボタンを押下します。</p> <p>エラー表示（赤セル）がないことを確認してください。エラー表示があれば、該当部分の修正を行なってください。</p>	
<p>最終チェック</p> <p>すべての入力が終わりましたら、画面上部または画面下部のチェックボタンを再度押下して、エラー表示（赤セル）がないことを確認してください。エラー表示がなければ、これで入力完了です。</p>	

V 「機械装置入力シート」から「まとめシート（楽酪G01号）」への転記

1 正常終了した「機械装置入力シート」の内容を「まとめシート（楽酪G01号）」へ転記を行ないます。

(別記様式第1号)
令和7年度 酪農経営支援総合対策事業(酪農労働省力化対策事業)参加要項

※機械装置入力シートの「転記」ボタンを押下してください。
(※この注意書は印刷時に表示されません)

楽酪応援会議の名称 (都道府県名)	きたそらち畜産協議会 (北海道)
----------------------	-----------------------

○ 楽酪応援会議推進事業への参加の有無

楽酪応援会議推進事業への参加の有無	有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
-------------------	----------------------------	----------------------------

楽酪応援会議推進事業の取組内容

会議の開催	<input type="checkbox"/>
事業計画の策定	<input type="checkbox"/>
労働時間削減用機械装置の選定	<input type="checkbox"/>

2 エラー表示がすべてなくなった状態で、画面上部または画面下部の「転記」ボタンを押下してください。
入力シートにエラーが残っている場合、転記ができません。

機械装置の入力（楽酪G0）

チェック 転記 クリア

注意

エラーがある場合はエラーを解消してから転記してください。

エラーがあるため転記できません。

OK キャンセル

3 正常に転記が行われた場合、「まとめシート（楽酪G01号）」には「機械装置入力シート」に入力した内容が反映されています。
内容に問題がないことを確認してください。
同一の応援会議の経営体は同じまとめシートに記載します。

○対象者の機械装置の要望取りまとめ

優先順位	楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2	事業費、補助金額等				成果目標値 ※4	労働時間削減効果分析の結果 ※5	
					事業費 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率			補助金額 (A×1/2以内)
	きたそらち畜産協議会	中畜ファーム	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	25,000,000	2,500,000	27,500,000	50.00%	12,500,000	▲ 38.6	0.237

VI 「Excel マクロシート」にファイル名を付ける

経営体 作業

労働負担軽減経営体は、初期状態のファイル名 **04rg_rakuraku1-1_000000.xlsm** の **「000000」** 部分を以下のとおり、変更し経営体のファイル名とします。

県番号（半角2桁）＋県内の応援会議コード（半角2桁）＋経営体名又は法人名

- （変更上の注意）**
- 1 個人の経営体名の場合は、姓と名の間にスペースを入れないこと。
 - 2 法人の場合、「株、有」などのいわゆる環境依存文字や、「(株)、(有)」などの「(、)」での省略は使用せず、「株式会社」「有限会社」「農事組合法人」などの正式な日本語で表記すること。

例として、県番号 13（東京）、県内の応援会議コード 01、経営体名又は法人名 株式会社中畜ファーム の場合

県番号（13）＋県内の応援会議コード（01）＋経営体名又は法人名（株式会社中畜ファーム）となり

04rg_rakuraku1-1_1301 株式会社中畜ファーム.xlsm としてください。

これで、「要望調査票」（出力シート（楽酪GO1号-1））及び「施設整備要望調査票」（出力シート（楽酪GO1号-1別紙1））までが作成されました。

- ① 労働負担軽減経営体は、上記「Excel マクロシート」ファイルを所属する応援会議まで送信してください。
(このファイルの応援会議から道府県畜産協会への送信期限 **5月29日**まで。)
- ② 労働負担軽減経営体は、「出力シート（楽酪GO1号-1）及び出力シート（楽酪GO1号-1別紙1）」をプリントし、「提出書類 確認表」の提出添付資料を確認し、すべての必要な確認ができた時点で、**直筆署名等**を行い、提出書類一式を所属する応援会議まで提出してください。
(この資料を添付資料とした実施計画書承認申請の応援会議から道府県畜産協会への送信期限 **6月15日**まで)

VIII 参加要望書（別記様式第1号）の作成

応援会議 作業

- 1 応援会議は、まず労働負担軽減経営体から送信された「Excel マクロシート」の中の、**まとめシート（楽酪GO1号）**を開いてください。このシートは「転記用シート」となっています。
「別記様式第1号」様式と一見、様式が同じですが、このシートを提出しないでください。

(別記様式第1号)

令和7年度 酪農経営支援総合対策事業(酪農労働省力化対策事業)参加要

※機械装置入力シートの「転記」ボタンを押下してください。
(※この注意書は印刷時に表示されません)

楽酪応援会議の名称	きたそらち畜産協議会		
(都道府県名)	(北海道)

○ 楽酪応援会議推進事業への参加の有無

楽酪応援会議推進事業への参加の有無	有	無	
-------------------	---	---	--

楽酪応援会議推進事業の取組内容

会議の開催	
事業計画の策定	
労働時間削減用機械装置の選定	
事業成果の検討	
先進地事例調査	
労働時間削減に取り組む酪農家への指導	
その他	

※ 該当する項目の欄に○をする。

2 参加要望書（別記様式第1号）のファイルは、「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」の「2 実施計画書の承認申請書の提出に当たって」の提出ファイルの①参加要望書の楽酪GO：要望様式をダウンロードしてください。

区分	提出ファイル		作成者	提出者
	畜産ICT事業	楽酪GO事業		
①参加要望書	要望様式	要望様式	応援会議	応援会議
②要望調査票 (Excelマクロシート)	酪農 肉牛繁殖 肉牛肥育	酪農	労働負担軽減経営体	応援会議

3 ファイルを開き、左端の **会 3** を開きます。
(別記様式第1号)



4 **まとめシート (楽酪GO1号)** の 24 行目をコピーして、**別記様式第1号 参加要望書** の 24 行目へ、貼り付けます。
複数の機械装置の要望、複数の労働負担軽減経営体からの要望がある場合は、この作業を繰り返します。

応援会議の名称と都道府県名もコピーして貼り付けます。
楽酪応援会議推進事業への参加の有無も該当する項目があれば、○を付けてください。

楽酪応援会議の名称 (都道府県名)	きたそらち畜産協議会 (北海道)
----------------------	---------------------

○ 楽酪応援会議推進事業への参加の有無	
楽酪応援会議推進事業への参加の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
楽酪応援会議推進事業の取組内容	<input type="checkbox"/> 会議の開催 <input type="checkbox"/> 事業計画の策定 <input type="checkbox"/> 労働時間削減用機械装置の選定 <input type="checkbox"/> 事業成果の検討 <input type="checkbox"/> 先進地事例調査 <input type="checkbox"/> 労働時間削減に取り組む酪農家への指導 <input type="checkbox"/> その他

※ 該当する項目の欄に○をする。

優先順位	楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置				施設の整備							
			機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2	カタログページ ※3	数量	機械価格 (税抜)	補助金額	単価 (/式・台)	施設整備の内容 (税抜)	事業費 (税抜)	単価 (/㎡)		
24	きたそらち畜産協議会	中音ファーム	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	115	1	15,000,000	12,500,000						
合計										15,000,000	12,500,000	0	0	0

優先順位	楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置				施設の整備				事業費、補助金額等				
			機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2	カタログページ ※3	数量	機械価格 (税抜)	補助金額	単価 (/式・台)	施設整備の内容 (税抜)	事業費 (税抜)	単価 (/㎡)	事業費 A	消費税率 B	計 (A+B)
24	きたそらち畜産協議会	中音ファーム	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	115	1	15,000,000	12,500,000				0	0	0	1/2

5 複数の労働負担軽減経営体から要望がある場合は、①「労働時間削減効果分析の結果」が良いもの（数が小さなもの）が高順位となるように並び替えます。
最後に、②「優先順位」に1から順に数値（労働時間削減効果分析の結果が同数値の場合は、優先順位も同数値）を入力して下さい。

○対象者の機械装置の要望取りまとめ

優先順位	実施応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置		長、補助金額 補助金額	成果 目標値 ※4	労働時間 削減効果 分析の結果 ※5	検証方法 ※6
			機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2				
② 1	千代田区実施応援会議	天神 三郎	飼料給与関係機械装置	ほ乳ロボット	1,800,000	▲ 2.8	① 0.127	
2	中畜ICT/実施応援会議	株式会社中畜ファーム	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	17,250,000	▲ 25.4	0.543	

6 作成した別記様式第1号にファイル名を付けてください。

初期状態 r8rakuGO_yobo_yoshiki.xlsx ⇨ ファイル名変更後 〇〇〇〇_r8rakuGO_yobo_yoshiki.xlsx

↓
県番号（半角2桁）＋県内の応援会議コード（半角2桁）_（半角アンダーバー）

例として、県番号 13（東京）、県内の応援会議コード 01、の場合、

県番号（13）＋県内の応援会議コード（01）で、1301_r8rakuGO_yobo_yoshiki.xlsx となります。

7 応援会議は、作成した「別記様式第1号」ファイルと、労働負担軽減経営体から提出のあった「Excelマクロシート」ファイルを併せて、5月29日までに道府県畜産協会を経由して、中央畜産会に報告してください。

また、応援会議は、「別記様式第1号」をプリントアウトし、2で示した「提出書類（応援会議⇨中央畜産会）」にある「実施計画書・応援計画書」を作成・プリントアウトし、労働負担軽減経営体から提出のあった要望調査票関係書類一式を併せて、6月15日までに道府県畜産協会を経由して、中央畜産会に報告してください。

別添 選択可能な組み合わせ

表1 現状の搾乳方式と導入希望機械装置の選択可能な組合せ		機械装置導入による1頭当たり削減労働時間(時間/頭・年)							
導入希望の機械装置		現況の搾乳方式							
		M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8
		48h	40h	46h	38h	34h	42h	34h	7h
自動離脱装置	M2 40h	-8h 申請可	0h 増設可						
手動搬送レール	M3 46h	-2h 申請可	-2h 申請可 注1	0h 不可					
手動搬送レール +自動離脱装置	M4 38h	-10h 申請可	-2h 申請可	-8h 自動離脱のみ 申請可	0h 自動離脱 増設可				
自動搬送レール 自動離脱装置標準装備	M5 34h	-14h 申請可	-6h 申請可	-12h 申請可	-4h 申請可	0h 増設可	不可		
ミルクパーラー (自動離脱装置あり)	M7 34h	-14h 申請可	-6h 申請可	-12h 申請可	-4h 申請可	0h 不可	注2 申請可	0h 方式変更 自動離脱 増設可	
搾乳ロボット	M8 7h	-41h 申請可	-33h 申請可	-39h 申請可	-31h 申請可	-27h 申請可	-35h 申請可	-27h 申請可	0h 不可
各搾乳方式の搾乳牛1頭当たりの搾乳時間(時間/年・頭)		M1: バケツ及びパイプライン方式(自動離脱なし) 48時間 M2: バケツ及びパイプライン方式(自動離脱あり) 40時間 M3: 搾乳ユニット手動搬送方式(自動離脱なし) 46時間 M4: 搾乳ユニット手動搬送方式(自動離脱あり) 38時間 M5: 搾乳ユニット自動搬送方式 34時間 M6: ミルキングパーラー方式(自動離脱なし) 42時間 M7: ミルキングパーラー方式(自動離脱あり) 34時間 M8: 搾乳ロボット方式 7時間							

注1: 現状の自動離脱装置と導入する搾乳ユニット手動搬送方式とを組み合わせ搾乳ユニット手動搬送方式(自動離脱あり)38hとする

注2: 現状がミルクパーラー方式(自動離脱装置なし)でミルクパーラー式(自動離脱装置あり)を導入希望の場合、以下2つのケースに分かれます。

ケース1: 現況ミルクパーラー(自動離脱なし)にミルク自動離脱装置のみ導入
→ 要望調査票にミルク自動離脱装置(ミルクパーラー用)をプルダウンリストから選択(メーカー名、型式)して、台数を入力。リストにない場合は、手入力してください。

ケース2: 新規にミルクパーラー(自動離脱装置あり:標準装備)を導入。
→ 要望調査票にミルクパーラー(メーカー名、型式、台数)のみを入力。

現状の搾乳方式と変更がない以下の場合。

- 補助対象: 削減労働時間計算書を提出し、専門委員会における承認が必要
- ・パイプライン方式(自動離脱あり) → 自動離脱装置の増設可(専門委員会)
 - ・手動搬送方式(自動離脱あり) → 自動離脱装置の増設可(専門委員会)
 - ・自動搬送方式 → 自動搬送装置の増設可(専門委員会)
 - ・ミルクパーラー(自動離脱あり) → 自動離脱装置の増設可(専門委員会)
- パーラー方式の変更可(専門委員会)

表2 給餌作業の現況と導入希望装置の組合せ (現況方式は△、導入希望装置は○で示す)				
注意: 導入希望装置は同じでも、現況方式が異なれば削減労働時間/頭・年の自動計算値は変わります。また、同時に申請できない組合せがあります(以下参照)。				
人力方式	自動給餌 (濃・粗飼料)	自動給餌 (濃厚飼料)	自走式 配餌車	削減労働 時間/頭・年
△43h		○		43-16=27h
△43h			○	43-37=6h
△43h	○			43-14=29h
	○	△16h		16-14=2h
	○		△37h	37-14=23h
		○	△37h	37-16=21h
	○		○	同時申請不可
		○	○	同時申請可
	○	○		同時申請不可 どちらか1つのみ申請可